

野菜作りの7つの喜び

村田正志

私は家から自転車で10分位の天宝喜にある農園で野菜づくりをして間もなく

9年目になります。会員は近くの団地に住んでいるリタイアした方が多いです。毎年春、夏、秋、冬野菜を50種類位栽培しています。

私は身障者ですが、畑まで電動自転車で行ってしま

す。途中転んで1日入院したこともあり。農園の中でもよく転びます。小高い山にも農園があります。そんな環境の中で野菜作りの7つの喜びを実感しています。

一、栽培の喜び
50種類と多いので結構忙しいです。耕すのはオーナーがトラクターで耕してくれます。石灰まき、追肥、マルチ張り、個人別エリアの決定と表示は会員の共同作業となります。原則種はホームセンターで買い、苗の植え替えが必要なのはビニールハウスで苗作りします。例えば

玉ねぎ、なす、トマト、ピーマンなどです。風の強い日、大雨の翌日は自分のマルチが浮いていたり、棚が傾いたりしますので観察します。

二、芽が出る喜び

種をまいたら芽が出るのが楽しみです。芽が出れば成功したようなものです。

三、収穫の喜び

収穫は冬季(1~2月)を除いて毎月収穫できます。2年前まではジャガイモ、玉ねぎの収穫に孫3人が手伝いに来てくれました。

四、小屋で野菜を売る喜び

自分で収穫したものは家で食べ、余った分は小屋に出して売ります。市価の半額位なので結構売れていきます。現在会員13名で売り上げ順は11番目です。私は満足しています。

五、料理を作る喜び

妻が働いているときは私も作りましたが今は妻が家にいるので私は作らなくなりました。

六、料理を食べる喜び

自分が栽培した料理は美味しいです。夕飯の食卓は魚肉以外は私の栽培したもの

です。肉は太るので嫌ですが野菜は美味しいです。特にライスカレーは好物です。今年初めてニンニクを栽培しました。玉は中国産と青森産を植えました。「球が中国産だよ。」とよく言われます。

七、会員のコミュニケーションの喜び

会員は皆優秀でお互い情報交換し教えます。以上「7つの喜び」ですが

楽しいことばかりではありません。夏時期の草との戦い。体が不自由なため作業が集中する時の疲れ。集中するときには妻と94歳になる義母にも手伝ってもらいます。今後のためにも「栽培日誌」をつけ、追肥、収穫、消毒した日など栽培に関する留意事項を記入し今後の参考にしています。

オーナーから、「あなたは野菜作りをしてなければ、もうあの世に行っているよ」とよく言われます。私も同感するところがありません。「私は、農園は楽園だな。」と思います。楽しい農園はやめることができま



広々とした共同農園風景

身障協の皆さまへ！

安藤たみ子

お元気で過ごしてでしょうか。昨年暮れには、愛のプレゼントありがとうございました。ハート型のコースターは使う度にほんわか気分になります。

イチゴのたわしは黄色なので見やすく、タワシ入れの中からすぐ選び出せるので、大助かりです。このところ書くのが大変に



イチゴのアクリルたわし

感じてしまい、お礼を申し上げるのがいまごろになってしまいました。塚田さん白内障の手術で見えるようになったとの事、良かったですね。これで農作業もいくらか楽になるでしょうね。お届けいただく便りに励まされ、私も元気に過ごしていきます。冷えが治らないので、走ってみる事にしました。走るといっても恰好だけで速度は歩くのと変わらないのですけどね。公園のフェンスのそば等、危険でない所でやっています。今回のゆうあいには載ってませんが、作品の事を思い出して一年ぶりに作ってみました。

・寒椿 きれいに咲いて 頑張れと それに答えて 少し頑張る
・雪の日は 踏みしめ進む 父のあと 通学の道